




不一致ファイル

- [不一致ファイル \(1 ページ\)](#)

不一致ファイル

このアラームは、デバイスで実行されているソフトウェアのバージョンの既知の適正な値 (KGV) に対するハッシュを検証することで、デバイスで実行されているソフトウェアアーティファクトとファイルの完全性をモニターします。アラームをトリガーする不一致の数を設定できます。不一致ファイルに対処するには、デバイスを調査し、実行されている Cisco IOS XR のバージョン、ファイルを最後に展開したユーザー、ファイルの提供元などを確認します。このアラームを設定するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** メインウィンドウで、 > [設定 (Configure)] > [ポリシー (Policies)] の順にクリックします。
- ステップ 2** [ポリシーを追加 (Add Policy)] をクリックします。
- ステップ 3** [名前 (Name)] フィールドでポリシー名を入力します。
- ステップ 4** [トリガー (Triggers)] で、[ルールの追加 (Add Rules)] をクリックします。
- ステップ 5** [不一致ファイル (Mismatched Files)] をクリックします。
- ステップ 6** [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 7** デフォルトでは、ルールが有効になっています。ルールをまだ使用しない場合は、スイッチを [無効 (DISABLED)] に切り替えます。
- ステップ 8** スライダーを使用して、このアラームをトリガーする不一致ファイルの数を示します。不一致ファイルの数が赤色と ALARM テキストで示される範囲内にある場合、Crosswork Cloud から通知が届きます。
- ステップ 9** [重大度 (Severity)] ドロップダウンリストで、このアラームに定義する重大度を選択します。
- ステップ 10** その他の必要なインターフェイスおよびエンドポイント通知の設定を行い、[保存 (Save)] をクリックします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。